

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-117504

(P2004-117504A)

(43) 公開日 平成16年4月15日(2004.4.15)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G09F 7/18

A47G 29/12

F I

G09F 7/18

A47G 29/12

V

D

テーマコード (参考)

3K100

審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2002-277227 (P2002-277227)

(22) 出願日 平成14年9月24日 (2002.9.24)

(71) 出願人 000131511

株式会社シブタニ

大阪府大阪市中央区島之内2丁目12番2  
1号

(72) 発明者 土橋 雷太

大阪府大阪市中央区島之内2丁目12番2  
1号 株式会社シブタニ内

(72) 発明者 東浦 浩二

大阪府大阪市中央区島之内2丁目12番2  
1号 株式会社シブタニ内

Fターム(参考) 3K100 CA16 CA41

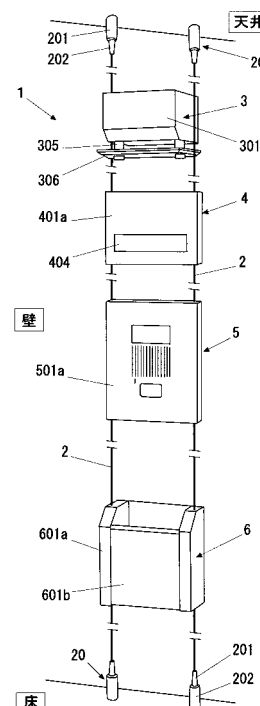
(54) 【発明の名称】 エントランスユニット

(57) 【要約】

【課題】支持手段2、2aによって一体的にユニット化されたものでありながら、照明3、表札4、インターホン5、郵便受け6を玄関の開口高さに最適な位置をもって、それぞれの玄関先機能の役割と使い勝手の良い個別配設ができ、袖壁面の上下方向領域の有効活用がなされ、しかも、各々固有の形態を外観露出することが出来るようになり、個別形状のデザイン設計が可能となって、バリエーションに富んだ組合せを行うことのできるエントランスユニットを提供することを目的とする。

【解決手段】エントランスユニット1を、躯体の上下方向に設けられた支持手段2と、上下方向所定間隔を存して離間配設される照明3、表札4、インターホン5、郵便受け6で構成すると共に、前記支持手段2に装着される表札4などを、支持手段2、2aを軌条としてガイドされるようスライド可能に装着せしめ、隣設するものとの相互間隔を配置調整可能に構成する。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

照明、表札、インターホン、郵便受け等の所定の玄関先機能を構成する部材が組合せ装備されるエントランスユニットであって、エントランスユニットは、躯体の上下方向に設けられた支持手段と、上下方向所定間隔を存して離間配設される構成部材とで構成されると共に、前記支持手段に装着される構成部材を、支持手段を軌条としてガイドされるようスライド可能に装着せしめ、隣設する構成部材の相互間隔を配置調整可能に構成してあることを特徴とするエントランスユニット。

## 【請求項 2】

請求項 1 において、前記支持手段は、前記構成部材を壁面から離間配設可能に設けられていることを特徴とするエントランスユニット。 10

## 【請求項 3】

請求項 1 乃至 2 において、前記支持手段を、躯体に対して張設せしめる線状、棒状、帯状等の張架体で構成したことを特徴とするエントランスユニット。

## 【請求項 4】

請求項 3 において、前記張架体は、一对の軌条を形成するよう所定間隔を存して配置せしめたことを特徴とするエントランスユニット。

## 【請求項 5】

請求項 1 乃至 2 において、前記支持手段は、床面に立設される柱体であることを特徴とするエントランスユニット。 20

## 【請求項 6】

請求項 5 において、前記柱体には、構成部材を案内するガイド部が設けられていることを特徴とするエントランスユニット。

## 【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 において、前記任意の構成部材には、前記支持手段との取着手段が設けられていることを特徴とするエントランスユニット。

## 【請求項 8】

請求項 7 において、前記取着手段は、前記支持手段を挟持する挟持具で構成されることを特徴とするエントランスユニット。

## 【請求項 9】

請求項 7 乃至 8 において、前記取着手段は、前記支持手段を嵌挿し、または支持手段に嵌挿されるガイド手段に兼用されていることを特徴とするエントランスユニット。 30

## 【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 において、前記構成部材には、前記支持手段に嵌装されるガイド部が設けられていることを特徴とするエントランスユニット。

## 【請求項 11】

照明、表札、インターホン、郵便受け等の所定の玄関先機能を構成する部材が組合せ装備されるエントランスユニットであって、該エントランスユニットは、躯体の上下方向に設けられ前記構成部材の奥行き幅よりも幅狭に形成された支持手段と、それぞれが独立形態に形成され上下方向所定間隔を存して配設された構成部材により全体が構成されると共に、前記支持手段に装着される構成部材のうち、少なくとも一の構成部材の側面を、支持手段よりも外方に突設配置させて構成してあることを特徴とするエントランスユニット。 40

## 【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 において、前記各構成部材のうち、照明、インターホンなどの配線を要する構成部材は壁面に取り付けられていることを特徴とするエントランスユニット。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明の属する技術分野】

本発明は、照明、表札、インターホン、郵便受け等の玄関先機能が組合せ装備されるエントランスユニットにかかり、特に、集合住宅等の玄関ドア近傍の袖壁面部に配設されるエ 50

ントランスユニットの技術分野に属するものである。

【0002】

【従来の技術】

一般に、この種エントランスユニットは、マンションなど集合住宅の玄関防火ドアの袖壁面に取り付けられるが、近年におけるこのような集合住宅では、戸建て住宅と同様に玄関先のグレードを高めることが要求される。これらは各階ごとに或いは各戸ごとに玄関レイアウトが異なるなど個別仕様にマッチングした配設が要求されると共に、居住者の使い勝手にも配慮する観点から、ユニットの組合せ構成部材の仕様決定も玄関先や共有通路の完工後に行われるなど、各現場ごとに要望が異なり、個別的な要求に対応しなければならないという実情がある。

10

【0003】

ところで、従来のエントランスユニットは、特開平08-294443号公報に開示された如く、四周枠組みされた枠体の所定位置に、予めビス孔を穿設し或いは取付けブラケットを組付けておき、これら取付位置に各玄関先機能である構成部材を収容して取付ける、所謂全体が一つのボックス型とする構造となっており、このボックス型枠体をドアの袖壁面に直接面当てして取付け施工するようになっていた。

しかしながら、この様なボックス型構造のものでは、壁面仕上げ後の施工と各構成部材の後付取着はできるものの、限られた圍繞枠空間の指定位置に各玄関先機能を収容固定していたため、ボックス全体の上げ下げにより位置調整しなければならない、例えば、照明を基準に設置すると、インターホンや新聞受けが床面から高すぎたり、新聞受けを下方に配置したい場合に、照明が下側になりすぎたり、また、インターホンの高さ位置も所望の位置に配置できないなど、照明、表札、インターホン、新聞受け等の各構成部材の配設バランスに変化性を持たせることができないという欠点がある。しかも、その外観形態にデザイン性の向上が求められるものの、各構成部材を壁面に面当て取着されるボックス枠内部に納めなければならないという構造上の制約があって、外観全体を平面的なものから脱却するような自由なデザイン設計が行えず、玄関先を立体感をもって演出するバリエーションの妨げ要因となっていた。

20

【特許文献1】

特開平08-294443号公報

【0004】

30

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記の如き問題点を一掃すべく創案されたものであって、支持手段によって一体的にユニット化されたものでありながら、各構成部材を玄関の開口高さに最適な位置をもって、照明は全体を照らす最上位置に、表札は見やすい位置に、インターホンは話しやすい位置に、新聞受けは出し入れがし易い位置に、それぞれの玄関先機能の役割と使い勝手の良い個別配設ができ、袖壁面の上下方向面域の有効活用がなされ、しかも、従来のボックス型構造の概念を払拭し、各構成部材固有の形態を外観露出することが出来るようになり、個々の玄関先機能に適合した個別形状のデザイン設計が可能となって、バリエーションに富んだ組合せを行うことのできるエントランスユニットを提供することを目的とする。

40

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明が採用した技術手段は、照明、表札、インターホン、郵便受け等の所定の玄関先機能を構成する部材が組合せ装備されるエントランスユニットであって、エントランスユニットは、躯体の上下方向に設けられた支持手段と、上下方向所定間隔を存して離間配設される構成部材とで構成されると共に、前記支持手段に装着される構成部材を、支持手段を軌条としてガイドされるようスライド可能に装着せしめ、隣設する構成部材の相互間隔を配置調整可能に構成してあることを特徴とする。

また、照明、表札、インターホン、郵便受け等の所定の玄関先機能を構成する部材が組合せ装備されるエントランスユニットであって、該エントランスユニットは、躯体の上下方

50

向に設けられ前記構成部材の奥行き幅よりも幅狭に形成された支持手段と、それぞれが独立形態に形成され上下方向所定間隔を存して配設された構成部材により全体が構成されると共に、前記支持手段に装着される構成部材のうち、少なくとも一の構成部材の側面を、支持手段よりも外方に突設配置させて構成してあることを特徴とする。

#### 【0006】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を好適な実施の形態として例示するエントランスユニットを図面に基いて詳細に説明する。図1はエントランスユニットの全体斜視図、図2はその分解斜視図である。1は集合住宅等の玄関ドア近傍の袖壁面に設けられたエントランスユニットであって、該エントランスユニット1は、躯体である天井と床間に張設された支持手段としての線状張架体である一对のワイヤー2、2に対し、照明3、表札4、インターホン5、新聞受け（郵便受け）6等の玄関先機能を構成する各部材が組合せ装備されたものであり、これら各構成部材3、4、5、6は上下方向所定間隔を存して離間配設されている。

10

#### 【0007】

前記ワイヤー2は、天井面と床面にそれぞれ2箇所ずつ設けられた取着手段としてのワイヤ張装具（挟持具）20によって張設されるが、このワイヤ張装具20は、陳列棚、額、ライトその他のインテリア用具などを陳列装備するためのワイヤを張設するものとして市販されている部材であり、例えば、特開平11-247082号公報に開示された如きの公知の構成となっている。つまり、ワイヤ張装具20は、本体ボディ201と、該本体ボディ201内に先端側がバネにより常時外方に突出するよう出沒可能に設けられたワイヤクリッパー202とからなる。ワイヤクリッパー202には、ワイヤー2が嵌挿されており、突出時にはワイヤー2をクリッピングにより挟持し、没入時には解除する機構（図示しない）となっている。

20

また、ワイヤー2の張設位置は、躯体である壁面に予め照明3用配線孔30とインターホン5用配線孔50が穿設された位置に取り付けられる。

#### 【0008】

前記照明3は、電灯303およびそのソケット304が設けられたコ字状の照明ベース302と、該照明ベース302に嵌装され摘みネジ308により固定される化粧カバー301と、この化粧カバー301の下面に隙間を持たせて化粧ボルト305により取り付けられた透光性樹脂板306とで構成されており、前記ワイヤー2、2間の前記配線孔30に取り付けられたブラケット30aに、その背面を面当てさせて壁面に直接取り付けられ、背面を除く5面が外観露出されている。なお、307は通気口であり、前記樹脂板306部分の隙間との共同作用によって、電灯303の点灯時に、内部の熱を外部に放出し、また、上下方向に光を照射するようになっている。

30

#### 【0009】

前記表札4は、上面視断面ハット型に折曲形成された表札ベース402と、該表札ベース402に上下方向に回転可能に軸着された前記ワイヤ張装具（挟持具）20と、これらを外装する表裏化粧カバー401a、401bとで形成される。

ワイヤ張装具20は、上方に向けて支持手段であるワイヤー2に止着されており、裏側化粧カバー401bには、四周面片403が面落ちして取着され、その左右端面部位に夫々上下一対で都合4箇所にワイヤー挿通孔403aが設けられている。これにより、ワイヤー2に装着された際に、左右両側面部がワイヤー2よりも外方に位置する状態で、全体が壁面から離間配設されて6面が外観露出すると共に、ワイヤー2を軌条としてワイヤー挿通孔403aによりスライド可能にガイドされ、前記ワイヤ張装具20の操作で隣設する照明3やインターホン5との相互間隔を配置調整できるようになっている。この調整操作は、表側化粧カバー401aを外した状態で行われるが、表側化粧カバー401aは表札4の配置調整を行った後、前記周面片403に被嵌装着されるようになっており、施工完了後に於いても表側化粧カバー401aを外し、ワイヤ張装具20を操作することでその配置を変更することができる。

40

50

一方、表側化粧カバー４０１aには、居住者の氏名を示す透明もしくは半透明の亚克力樹脂よりなる名札板をセットする凹溝４０４が設けられており、この凹溝４０４面に前記表札ベース４０２への取着用ビス孔を穿設して、取着後に名札板により隠すことが出来るようになっている

#### 【００１０】

前記インターホン５は、取付けプレート５０４に取付けられるインターホン装置５０３が設けられた箱状のインターホンベース５０２と、該インターホンベース５０２に表裏側からそれぞれ外装される化粧カバー５０１a、５０２bとで構成される。表側化粧カバー５０１aの正面域には、インターホン装置５０３のボタン操作や音声伝達用などの任意の孔部が穿設され、裏側化粧カバー５０１bは、インターホンベース５０２の背面部が突出するよう中央が開口されたリング状に形成され、その内側周面に、四周面片５０５が面落ちして取着されており、これに表側化粧カバー５０１aが嵌装されるようになっている。また、四周面片５０５には、前記表札４の裏側化粧カバー４０１bと同様にその左右端面部位に夫々上下一対で都合４箇所ワイヤー挿通孔５０５aが設けられ、ワイヤー２に装着された際に、左右両側面部がワイヤー２よりも外方に位置する状態で、ワイヤー２を軌条としてスライド可能にガイドされ配置調整でき、前記ワイヤー２、２間の前記配線孔５０に取り付けられたブラケット５０aに、インターホンベース５０２の背面を面当てさせて、背面の一部を除く６面を外観露出させて壁面に直接止着されている。

#### 【００１１】

前記郵便受け６は、左右両側面片を有し背面・底面がＬ字状に折曲形成されに郵便受けベース６０２と、該郵便受けベース６０２の両側面片に上下方向に回転可能に軸着収容された前記ワイヤ張装具（挟持具）２０と、表札ベース４０２の側面片を外装する左右側面化粧カバー６０１a、６０１aおよびこれらに挟まれて前面に取付けられる透光性亚克力板６０１bとで全体が上面が拡開された箱状形成される。

前記ワイヤ張装具２０、２０は、夫々上方に向けて支持手段であるワイヤー２に止着されており、側面化粧カバー６０１aには、その上下面に一対のワイヤー挿通孔６０３が設けられている。

これにより、ワイヤー２に装着された際に、左右両側面部がワイヤー２よりも外方に位置する状態で、全体が壁面から離間配設されて６面が外観露出すると共に、ワイヤー２を軌条としてワイヤー挿通孔６０３によりスライド可能にガイドされ、前記ワイヤ張装具２０の操作で隣設するインターホン５との相互間隔、および床面からの間隔を配置調整できるようになっている。この調整操作は、側面化粧カバー６０１aを外した状態で行われるが、側面化粧カバー６０１aは郵便受け６の配置調整を行った後、前記郵便受けベース６０２の左右両側面片に被嵌装着されるようになっており、施工完了後に於いても表側化粧カバー４０１aを外し、ワイヤ張装具２０を操作することでその配置を変更することができる。

#### 【００１２】

次に、前記エントランスユニット１の施工手順を説明する。先ず照明３およびインターホン５をそれぞれ壁面に設けられた前記ブラケット３０a、５０aに取り付け、ワイヤ張装具２０を天井面と床面の所定位置に取付ける。その際、天井面に取り付けられたワイヤ張装具２０に予めワイヤー２を挿入止着しておき、この垂下した２本のワイヤー２に、表札４、インターホン５、新聞受け６をそれぞれの化粧カバー４０１a、５０１a、６０１aを外した状態で、それぞれワイヤー挿通孔４０３a、５０５a、６０３に順次装着するが、表札４と新聞受け６は夫々のワイヤ張装具２０にワイヤー２を挿入止着させる作業を伴う。次いで、床面に取り付けられたワイヤ張装具２０にワイヤー２を挿入しワイヤー余端部を引き寄せて止着し、ワイヤー２を張設する。その後、表札４と新聞受け６をそれぞれのワイヤ張装具２０を操作して、隣設する照明３やインターホン５との間隔をスライド調整して、それぞれに化粧カバー４０１a、５０１a、６０１aを取付ける。

なお、天井面と床面に取り付けしたワイヤ張装具２０は、アーム等を介して壁面に取り付けしてワイヤー２を張設しても良く、上下のみならず中間に配設させても良い。また、ワイヤ

ー２に替えて棒状のパイプ、帯状のベルトやパネル等の張架体を用いても良く、その際にはそれぞれ適宜にワイヤ張装具２０に替えて他の取着手段としての挟持具が用いられることは勿論であり、パイプ等剛性の高いものを用いる場合には、ワイヤー２のように振動し易いこともないので、パイプ内に配線し照明３やインターホン５を表札４や新聞受け６と同様に壁面から離間させて装着することもできる。この場合、各構成部材３～６は全て施工後に於いても位置調整できることになる。

#### 【００１３】

図３は自立型のエントランスユニット１ａ、即ちエントランスポールとして使用する場合の実施形態を示す斜視図であって、該エントランスユニット１ａは、床面に立設された支持手段としての柱体２ａと、該柱体２ａに装備された玄関先機能の各構成部材、照明３１ 10  
、表札４１、インターホン５１、新聞受け６１により構成されている。

前記柱体２ａは、板材を逆Ｕ字形状に折曲して形成され、左右に所定間隔を存して対向する板材（柱体２ａ）の上下方向にそれぞれ形成された長孔のガイド部２１１、２１１が設けられており、前記各構成部材のうち表札４１、インターホン５１、新聞受け６１は、柱体２ａ間の中空部に上下方向所定間隔を存して離間配設され、かつ、隣設する構成部材の相互間隔を調整できるように、柱体２ａを軌条として前記ガイド部２１１に案内されるようスライド可能に装着されている。

#### 【００１４】

表札４１、インターホン５１、新聞受け６１は、それぞれ第１実施形態と同様に化粧カバー（ケースカバー）４１１、５１１、６１１が外装された独立形態に構成されており、それぞれに前記ガイド部２１１に挿通される取着手段２１が設けられている。すなわち、表札４１は、柱体２ａに装着された際に、左右両側面部が柱体２ａよりも外方に位置する状態で６面が外観露出されるよう、その両側に形成された柱体挿通孔４１２を柱体２ａに上下方向スライド可能に嵌挿しており、図示しない内部側からボルト締めにより柱体２ａを挟み込んで止着されるようになっており、柱体挿通孔４１２は、前記ボルトと共に取着手段２１を構成し、かつガイド手段として兼用される。 20

また、インターホン５１、新聞受け６１には、取着手段としてのＴ字状のボルト２１が左右に都合４箇所ずつ設けられており、前記ガイド部２１１に挿通されて柱体２ａを内部側から図示しないナットの緊締操作で挟持し止着される。

なお６１２は、新聞受け６１の前面に形成される郵便出し入れ口を開閉する蓋部材である 30  
。

#### 【００１５】

叙述の如く構成された本発明の実施の形態において、いま、マンションなど集合住宅の玄関ドアの袖壁面にエントランスユニットを取り付けるのであるが、本発明のエントランスユニット１は、躯体の上下方向に支持手段としてのワイヤー２が、それぞれが独立形態に形成され各構成部材３、４、５、６を上下方向所定間隔を存して離間配設するに十分な高さ幅をもって張設されており、ワイヤー２に装着された表札４、インターホン５、郵便受け６は、このワイヤー２を軌条としてワイヤー挿通孔４０３ａ、５０５ａ、６０３によりガイドされるべくスライド可能に装着され、隣設する構成部材の相互間隔を配置調整可能に構成されており、更には、これらの側面が、ワイヤー２よりも外方に突設配置する外観形態で構成されている。 40

また、エントランスユニット１ａは、躯体の上下方向に支持手段としての柱体（枠体）２ａが、それぞれが独立形態に形成され各構成部材３１、４１、５１、６１を上下方向所定間隔を存して離間配設するに十分な高さ幅をもって立設されており、柱体２ａに装着された表札４１、インターホン５１、郵便受け６１は、この柱体（枠体）２ａを軌条として柱体挿通孔４１２またはガイド部２１１によりガイドされるべくスライド可能に装着され、隣設する構成部材の相互間隔を配置調整可能に構成されており、更には、表札４１の側面が、柱体２ａよりも外方に突設配置する外観形態で構成されている。

その結果、支持手段２、２ａによって一体的にユニット化されたものでありながら、各構成部材を玄関の開口高さに最適な位置をもって、照明３、３１は全体を照らす最上位置に 50

、表札 4、4 1 は見やすい位置に、インターホン 5、5 1 は話しやすい位置に、新聞受け 6、6 1 は出し入れがし易い位置に、それぞれの玄関先機能の役割と使い勝手の良い個別配設ができ、袖壁面の上下方向面域を有効に活用することができる。つまり、照明 3 を壁面に直接取付けし、または柱体 2 a の最上位に取付けしてこれを基準とし、ワイヤー 2 に他の構成部材が装着された状態から最適な高さにスライドさせて配設でき、特に、ワイヤー 2 を用いた際に、インターホン 5 は施工時に於いて前記ブラケット 5 0 a に移動でき、また、表札 4、4 1、インターホン 5 1、新聞受け 6、6 1 はそれぞれ施工時のみならず施工後においても居住者の嗜好により位置変更することができる。しかも、従来のボックス型構造の概念を払拭し、各構成部材固有の形態を外観露出することが出来るようになり、各玄関先機能に適合した個別形状のデザイン設計が可能となって、バリエーションに富んだ組合せを行うことができる。 10

#### 【0016】

さらに、支持手段 2 は、袖壁面から離間した位置、つまり、表札 4 と新聞受け 6 を壁面から離れ浮いた状態で配設できる位置に設けられているので、袖壁面に設けられるものでありながら、圍繞枠と共に壁面に面当てされる従来のボックスタイプのもの如く、平面的な壁面、つまり額縁から各構成部材が単に突出したイメージを払拭し、各構成部材は、支持手段 2 から後側に突出する外観を露出することができると共に、その背面を含む 6 面全てを視認できる態様で装着でき、固有のデザイン形態をそのまま表出させたバリエーションに富んだ組合せを行うことができる。なお、実施例 2 にあっては全てが壁面から離れた状態とした、自立タイプのものとして使用できる。 20

#### 【0017】

しかも、支持手段には、張架体である線状のワイヤー 2 を用いているので、支持手段 2 自体を目立たなくし得て、構成部材が恰も空中に浮いた如きの演出効果を表現することができる。玄関先機能を納める設備的なユニットから脱却し、更に加えて玄関先を装飾し演出する演出アイテムとしての機能を向上できるばかりか、各構成部材を支持手段を用いることなく独立して壁面に取付けした如きのものに比し、1 つの意匠的まとまりのある一体感を持ったユニットとして提供することができる。なお、張架体は、張力を必要とする鎖などの線状のもの、パイプなど棒状のもの、シートなどの帯状のもの等であっても良い。また、支持手段として、それ自体強度があり構成部材を壁面から離れ浮いた状態で配設支持できる床面に立設される柱体（枠体）2 a や、壁面に上下 2 箇所に取り付けられる側面視略「」型や「」型のパイプなどの柱体（枠体）を用ることにより、前者の場合にはユニット全体をエントランスポールとして使用することができ、後者の場合には前記張架体の如くに配線を必要とする照明 3、3 1 やインターホン 5、5 1 であっても枠体を通して配線でき、全ての構成部材をスライド可能に配設することができる。なお、この場合を含め支持手段の前面側に構成部材を配設しても良いことは勿論である。 30

また、これら柱体（枠体）2 a 自体を、ワイヤー 2 と同様に構成部材に挿通させてもよいが、構成部材を案内するガイド部 2 1 1 が設けられることにより、奥行き幅のある支持手段を用いた場合であっても、取着手段としてのボルト 2 1 用いることにより、簡単な構成によりスライド可能に配設できる。

#### 【0018】

また、前記取付手段は、ワイヤー 2 や柱体 2 a といった適宜使用される支持手段に適合して選出することができ、これらは、支持手段を挿通するタイプのワイヤ張装具 2 0 や、または支持手段に嵌挿されるタイプのボルト 2 1 として使用することができ、ガイド手段に兼用して使用することができる。 40

#### 【0019】

##### 【発明の効果】

本発明は、照明 3、3 1、表札 4、4 1、インターホン 5、5 1、郵便受け 6、6 1 等の所定の玄関先機能を構成する部材が組合せ装備されるエントランスユニット 1、1 a であって、エントランスユニット 1、1 a は、躯体の上下方向に設けられた支持手段 2、2 a と、上下方向所定間隔を存して離間配設される構成部材 3、4、5、6 または 3 1、4 1 50

、51、61とで構成されると共に、前記支持手段2、2aに装着される構成部材3、4、5、6または31、41、51、61を、支持手段2、2aを軌条としてガイドされるようスライド可能に装着せしめ、隣設する構成部材の相互間隔を配置調整可能に構成したことにより、

また、照明3、31、表札4、41、インターホン5、51、郵便受け6、61等の所定の玄関先機能を構成する部材が組合せ装備されるエントランスユニット1、1aであって、該エントランスユニット1、1aは、躯体の上下方向に設けられ前記構成部材3、4、5、6または31、41、51、61の奥行き幅よりも幅狭に形成された支持手段2、2aと、それぞれが独立形態に形成され上下方向所定間隔を存して配設された構成部材3、4、5、6または31、41、51、61により全体が構成されると共に、前記支持手段2、2aに装着される構成部材のうち、少なくとも一の構成部材の側面を、支持手段よりも外方に突設配置させて構成してあることにより、

支持手段2、2aによって一体的にユニット化されたものでありながら、各構成部材を玄関の開口高さに最適な位置をもって、照明3、31は全体を照らす最上位置に、表札4、41は見やすい位置に、インターホン5、51は話しやすい位置に、新聞受け6、61は出し入れがし易い位置に、それぞれの玄関先機能の役割と使い勝手の良い個別配設ができ、袖壁面の上下方向面域の有効活用がなされ、しかも、従来のボックス型構造の概念を払拭し、各構成部材固有の形態を外観露出することが出来るようになり、個々の玄関先機能に適合した個別形状のデザイン設計が可能となって、バリエーションに富んだ組合せを行うことのできるエントランスユニットを提供することができる

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 エントランスユニットの全体斜視図

【図2】 図1の分解取付け説明を示す斜視図

【図3】 エントランスユニットの他の実施例を示す全体斜視図

#### 【符号の説明】

1、1a エントランスユニット

2 ワイヤー

2a 柱体

20 ワイヤ張装具

201 本体ボディ

202 ワイヤクリッパー

21 ボルト

211 ガイド部

3、31 照明

30 配線孔

30a ブラケット

301 化粧カバー

302 照明ベース

303 電灯

304 ソケット

305 化粧ボルト

306 樹脂板

308 ネジ

31 照明

4、41 表札

401a 表側化粧カバー

401b 裏側化粧カバー

402 表札ベース

403 四周面片

403a ワイヤー挿通孔

10

20

30

40

50

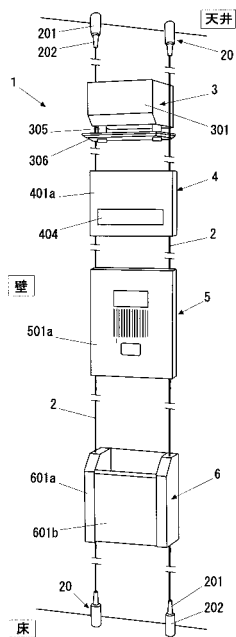


- 4 0 4 凹溝
- 4 1 1 化粧カバー
- 4 1 2 柱体挿通孔
- 5、5 1 インターホン
- 5 0 配線孔
- 5 0 a ブラケット
- 5 0 1 a 表側化粧カバー
- 5 0 1 b 裏側化粧カバー
- 5 0 2 インターホンベース
- 5 0 3 インターホン装置
- 5 0 4 プレート
- 5 0 5 四周面片
- 5 0 5 a ワイヤ挿通孔
- 5 1 1 化粧カバー
- 6、6 1 新聞受け
- 6 0 1 a 側面化粧カバー
- 6 0 1 b 透光性アクリル板
- 6 0 2 ベース
- 6 0 3 ワイヤ挿通孔
- 6 1 1 化粧カバー

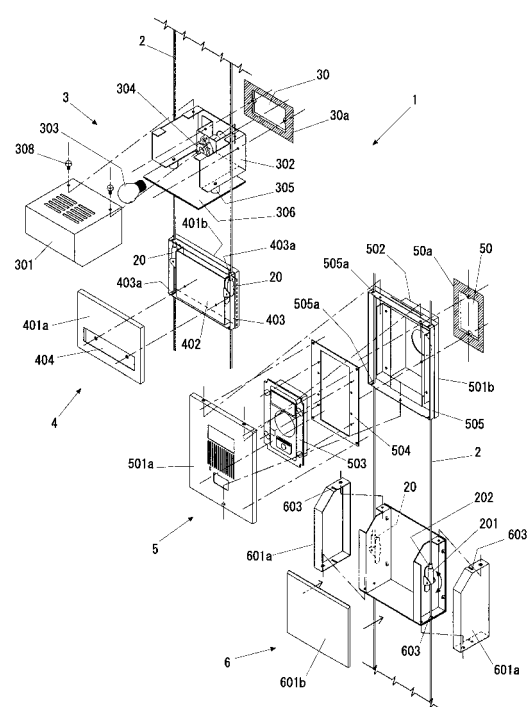
10

20

【図 1】



【図 2】



【図 3】

